

TSS に行ってきました —東京都立戸山高校 生徒研究成果合同発表会—

- ◇期 日:令和 7 年 2 月1日(土)
- ◇会 場:東京都立戸山高等学校
- ◇参加者:第 2 学年理数科学科 数学班生徒 2 名
- ◇引 率:本校数学科 國松弘志先生

私たち数学1班2名は都立戸山高校で開催された研究発表会、通称 TSS に参加し、これまでの探究活動で研究してきた「ババ抜き確率」についてポスターセッション形式で発表した。

まず初めにポスターセッション、次に代表生徒による口頭発表があった。

ポスターセッションでは、各生徒がポスターを用いながら研究の成果を発表した。私たちは滞りなく発表を進めることができた。また、本発表会には大学教授も参加しておられ、私たちの研究に関心を示してくださり、さらに本研究について様々なアドバイスも頂けたことが大変うれしく思われた。また、数学だけでなく物理や化学、生物、地学、情報の分野での発表があり、どれもレベルの高い研究で聴いてみたいと思わせる魅力で溢れていた。

口頭発表では、スライドを使い効果的に発表していた。発表者は、教室に集まった生徒や教授らが発表を理解できるよう明瞭さを重視しているように思われた。また、例えば AI を活用して株価の変動を予測しようとしたり、空の青さに関わる気象的要因を考察したりなど、身近な現象や出来事に着目し研究を行っていて面白かった。内容が難しく、説明を聴いても理解するのに時間がかかるものもあったが、発表の質が高かったので、全体を通して有意義な時間を過ごすことができた。

1 年間研究してきた「ババ抜き確率」の集大成を今回のような多くの参加者が集まる発表会で発表することができたのはとても良い経験になった。これを通して、課題研究について深い学びを得られたと思う。